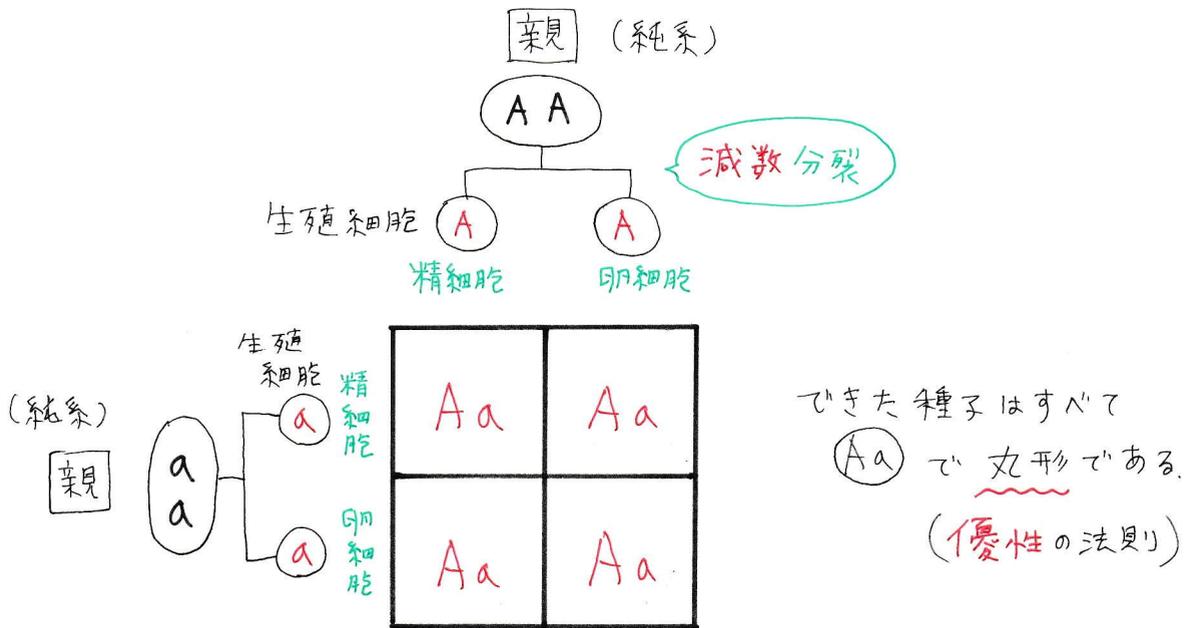


丸形の純系としわ開きの系統のかけ合わせ



減数分裂のときには、対になっている遺伝子は (A) (a) のように別れて別々の生殖細胞に入る。

↓  
これを (分離の法則) という。

優性の形質を持つ親と、劣性の形質を持つ親をかけ合わせると、子にはすべて (優) 性の形質だけが現れる。

↓  
これを (優性の法則) という。